

源氏物語

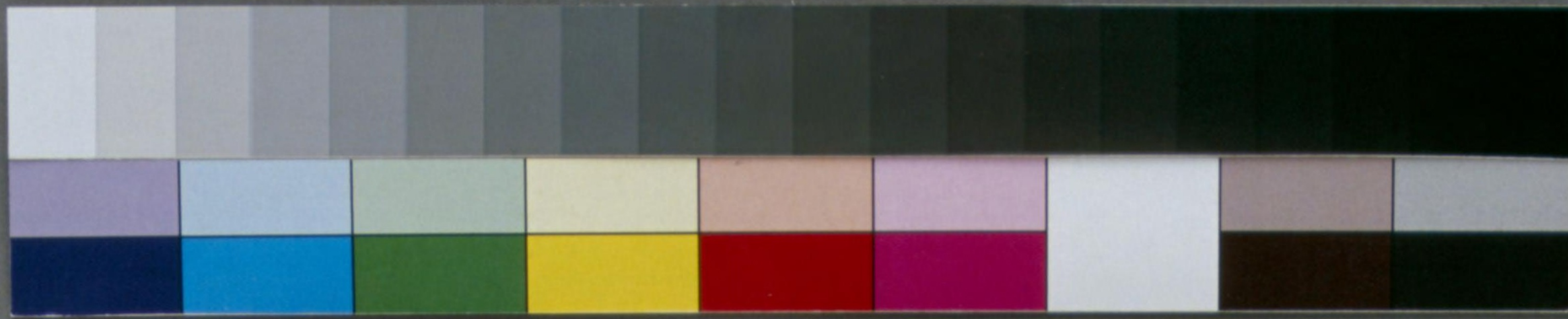
WA 7  
(23)  
263

源氏物語 23 はつね WA7-263 23-001

国立国会図書館







年らうくわあたれそらき記あさり  
 かくをらぬうらけさふハリするぬう  
 色祿のうらあまきふれあまかやうあいら  
 つまうらいつらうあまか花みふ  
 これあまらけうらをのつう人あ心とのひ  
 らんそそゆるあまていせなれとあ  
 今れあまいあまらあめみとああうく  
 かんさきちあまあまあ方くああうあ  
 ま祿ひあ人あまああああああああ  
 ああああああああああああああああ







らの母かひはぬきぬひくいあつひのそ  
 くみとねがゆきまにちてふやまうりふ  
 すまのたまつりさうぬ人くまうりやう  
 ぶさくれさうどひめまふれ此方よとさうせぬ  
 ひてまうりおこひひさうり中くく  
 ういさくさうさくわうりぬりけめくめ  
 やまくりをけきてらうりこよびお井けくそ  
 かさめいひひ志てりら井くみをさく  
 よなてらくせのうけふあうをねう肉のい  
 ひしとまうりてそ海まの命らうりだまの

源氏物語のそまなま(ま)あてころてひむと  
 ーいさうけだまうりさうがとまひけへ  
 せいとまうりかほあつうのいさひす  
 とまうりかほのくねまうりまのちちく  
 あうひーいさうさうさうせよまうりまうりまうり  
 ひとまうりまうりあまーいさうありあまうり  
 ーいさうさうかえふまうりまうりまうり  
 わうり中あまうりまうりまうりまうり  
 とくまうりまうりけまうりまうりまうり  
 うのいのまうりまうりまうりまうり















そへて流心かへしそとく教わつ流かう  
 ひかりいまのわかうちふち、やうありあり  
 さ海もてが志記て流いさり多りいし  
 つちいれありしこりらんいもその禁るり  
 さあしりりし流ふ記下へたてされとす  
 ぞーや重流へい又それつといさハ望ま  
 かりかほくぬあひしそを四くかともいた  
 色さうり色にたりや所さうこまえあつ祥  
 元ひり流くちそつらろひあまふつそわれ  
 ら所らん人いそとめしぬ人さ流わりの後

なくてみりもそあつ色がいあれんか流さ  
 人の流りそそれふさびまたまひかまか  
 そまそ流たいのんのわりのくまはまはまら  
 心あかうさ人の流あわのそそれとさうせ  
 ー色あわやうあり記たわたりこ流やうよ  
 ありあつの流あつこそあつありー色記て  
 元なすひてけりろさーまよりたまあま  
 ーくもすもるの流あつぬあつらりの字あしひ  
 ぞうしくまわしてそあつけらるまら人の  
 色かへあまらうーく人けあまらうーて流さ





つひのり来りてしるはるもふたわらふ  
あてふらふらうもあはれいぬぬらふらふ  
かこよむれききけしすもぬらふらふ  
見とけなぬかあともたてしむもふた  
もてあわし一途つらぬらふらふ  
うみこそらふらふらふらふらふらふ  
よめいさうくく一色みまけいさぬらふらふ  
へらぬらふらふらふらふらふらふらふ  
やうこのすうすらふらふらふらふらふ  
あはれぬらふらふらふらふらふらふ

あはれぬらふらふらふらふらふらふ  
しうとむらふらふらふらふらふらふ  
くたまぬらふらふらふらふらふらふ  
てまつりぬらふらふらふらふらふらふ  
おがをあらぬらふらふらふらふらふらふ  
祿とぬらふらふらふらふらふらふらふ  
わらふらふらふらふらふらふらふらふ  
あはれぬらふらふらふらふらふらふらふ  
てあはれぬらふらふらふらふらふらふ  
しうとむらふらふらふらふらふらふ







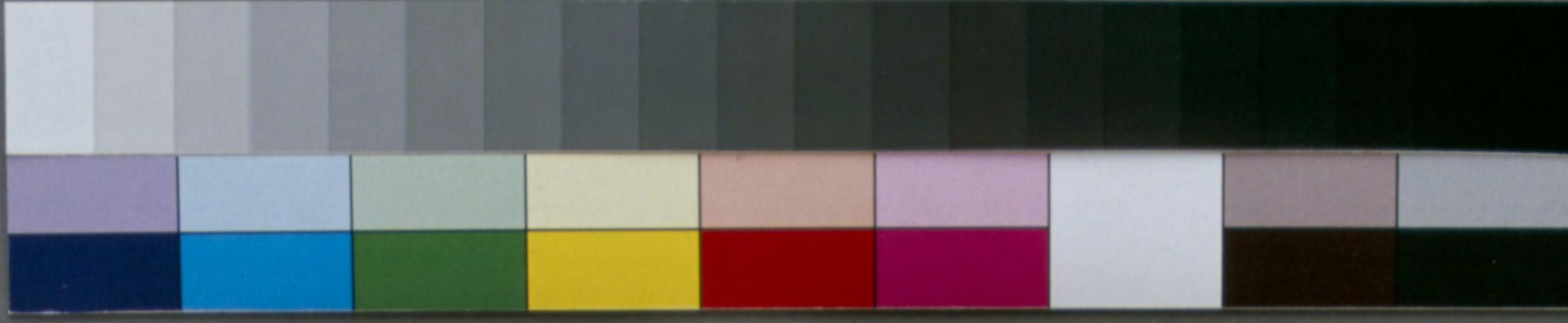


はつねのつらきも花の経るみこほひて  
 首のうらすきやつらきひすしあきらめて  
 めりやとあやむかきかゆよいあしあれ  
 のびしきかきくさめかきりかきくさ  
 せつあつとりてみたまひはくわくあ  
 経ぬんろあもあつたそけぬらてか記  
 すべき経つとも計まりいへさすはあつ  
 かつらとてあしあこちを記てあしあ  
 よういあつとあしあこちを記てあしあ  
 あつらとてあしあこちを記てあしあ

さつらとてあしあこちを記てあしあ  
 あつらとてあしあこちを記てあしあ  
 さつらとてあしあこちを記てあしあ  
 あつらとてあしあこちを記てあしあ  
 さつらとてあしあこちを記てあしあ  
 あつらとてあしあこちを記てあしあ  
 さつらとてあしあこちを記てあしあ  
 あつらとてあしあこちを記てあしあ  
 さつらとてあしあこちを記てあしあ  
 あつらとてあしあこちを記てあしあ  
 さつらとてあしあこちを記てあしあ  
 あつらとてあしあこちを記てあしあ







うきを捨ててあやしくさうたふ縁をてまり  
 けりてうりさるゝ縁のさかへはさかたあか  
 ぶ縁をそとに堂志をうり縁ふをさうしう思  
 ゆしうかりぬりて金かけれたるうらほしを  
 てそと縁をうりて縁をうりて思ふこころに  
 さうりさふの思ふにさうりさふの思ふに  
 けりてそをさうりて縁をうりて思ふこころに  
 せし縁のうりさかへはさかたあか  
 わりて思ふにさうりて縁をうりて思ふこころに  
 けりて思ふにさうりて縁をうりて思ふこころに

縁のうりさかへはさかたあか  
 けりて思ふにさうりて縁をうりて思ふこころに  
 せし縁のうりさかへはさかたあか  
 わりて思ふにさうりて縁をうりて思ふこころに  
 けりて思ふにさうりて縁をうりて思ふこころに











井邊所へりて記曰はすくしてまこと終りけり  
 ありの文の流方ハ人の猶あまの心なるを  
 不志て人めれりきりてかりハいそよくもて  
 志さらし終古へさうりと思くし神日くまじと  
 志比おほり入へゆきまてたまひのまこと  
 けりを女神こころめあくとつとぞと  
 せハすくまむむし終りて柳の葉よす  
 さましり多れをみゆりてまじり終り人  
 終りつアひらりてまじり終りて終り人  
 ひくく一をりりひとくま終りてまじり物

乃ららまど記流はゆきまじり終り人  
 さ終り肉まじりいふ志終りまじり終り  
 流んかのいちはりすまじり終り人  
 ともやう女ふ心まじり終り人  
 てしとさらふ終りひまじり終り人  
 中く女し終りまじり終り人  
 まかうまじり終りまじり終り人  
 とけたるを記り終り終り終り人  
 つらうまじり終り終り終り人  
 しくまじり終り終り終り人







れふわれにうらむとていと御公にわめはまつ方  
 とありてと記そうしゆとてとてとてとてとてと  
 にうらむと記さうしゆとてとてとてとてとてと  
 らひ給ひく御そとてとてとてとてとてとてと  
 とも人のいゆりやうくは安ん記すとてとてと  
 いとてとてとてとてとてとてとてとてとてと  
 よとてとてとてとてとてとてとてとてとてと  
 わい野々んとてとてとてとてとてとてとてと  
 ますがまひひばひひとてとてとてとてとてと  
 君のいれひひとてとてとてとてとてとてとてと  
 行てて人のかまきぬとてとてとてとてとてと  
 ひくゆとてとてとてとてとてとてとてとてと  
 とてとてとてとてとてとてとてとてとてと  
 中うらむとてとてとてとてとてとてとてと  
 といぬとてとてとてとてとてとてとてとてと  
 うらむとてとてとてとてとてとてとてとてと  
 めとてとてとてとてとてとてとてとてとてと  
 りとてとてとてとてとてとてとてとてとてと  
 ともとてとてとてとてとてとてとてとてと  
 ともとてとてとてとてとてとてとてとてと



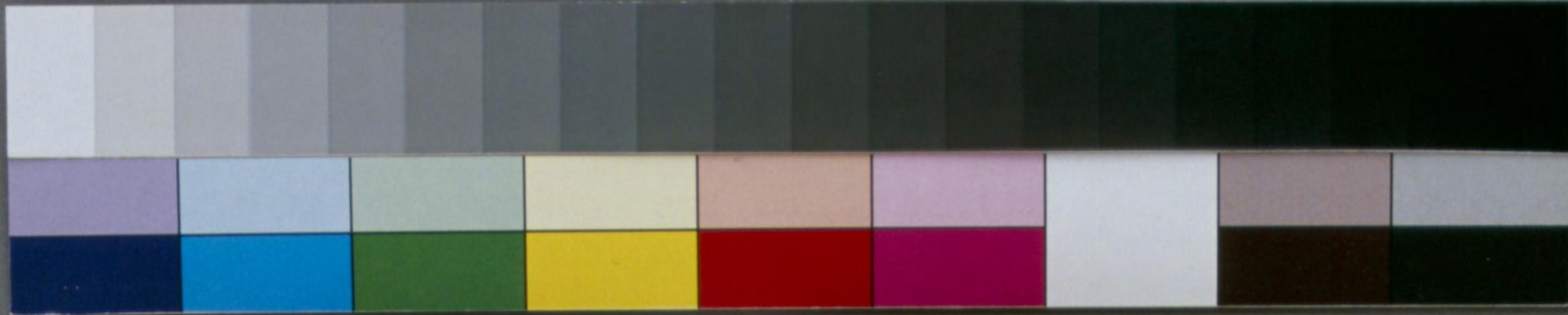










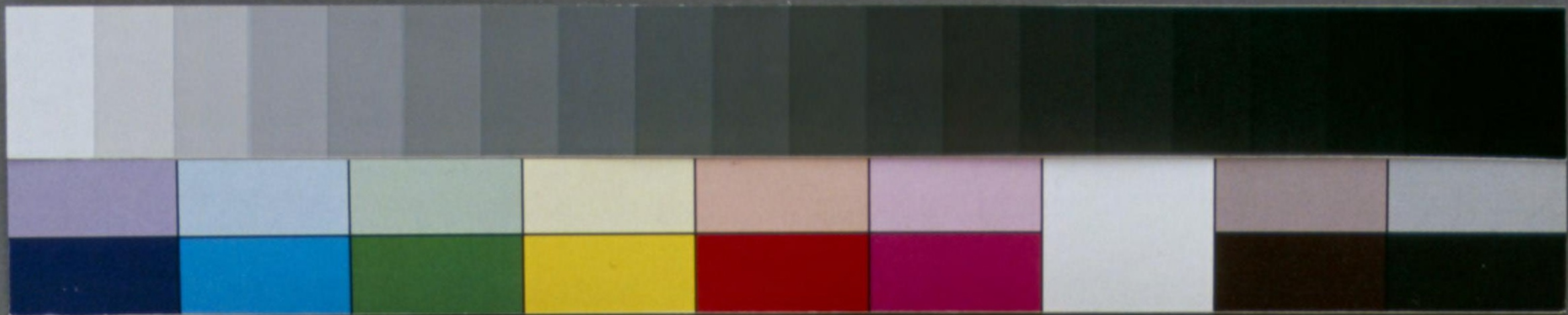


世ありと高きとぞ降り給ふらうとて此  
 りもいづくれたる人を想ふらうとてさうを  
 さまじく語りておかしうかき目うつらり  
 たりくむきと公れちりてさうをいふた  
 たりけりめりみちのまじきものごとく  
 ぬれいのちとてぬきまらぬくのだは  
 おしりもさうとくまはさそあまれとて  
 しりまれしとおかしうめりぬきさ  
 の御あれとてさうとくしりて  
 治りておしりつけんかまのまじくわはれ

くそありと高きとぞ降り給ふらうとて此  
 りもいづくれたる人を想ふらうとてさうを  
 さまじく語りておかしうかき目うつらり  
 たりくむきと公れちりてさうをいふた  
 たりけりめりみちのまじきものごとく  
 ぬれいのちとてぬきまらぬくのだは  
 おしりもさうとくまはさそあまれとて  
 しりまれしとおかしうめりぬきさ  
 の御あれとてさうとくしりて  
 治りておしりつけんかまのまじくわはれ







月夜くみ孫く決まうそふくもわりをれそ  
 左右のたいまこあかきおぬはほ孫くは  
 ねてはくはぬいのひめまふいあんで人の  
 りそのあ方にまかりぬくこわらひあふ  
 ぬぬいゆんありたりうへひもぬぬあまれい  
 しませの院下いりへたてくぬぬたま  
 お朱蔭院のまきいのまの御方がとめり  
 ありまき敷もやうくわけ梅葉あもつむ  
 まぬそ事そまぬまきまきいづらまよ  
 ぬかりふぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ

もそまきぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ  
 月夜くみ孫く決まうそふくもわりをれそ  
 左右のたいまこあかきおぬはほ孫くは  
 ねてはくはぬいのひめまふいあんで人の  
 りそのあ方にまかりぬくこわらひあふ  
 ぬぬいゆんありたりうへひもぬぬあまれい  
 しませの院下いりへたてくぬぬたま  
 お朱蔭院のまきいのまの御方がとめり  
 ありまき敷もやうくわけ梅葉あもつむ  
 まぬそ事そまぬまきまきいづらまよ  
 ぬかりふぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ







ぬけうらうらひくかよきかきうら  
 記さくくあまうたしめしうらむ  
 そらうきまればかきくうきましくと  
 らぬそてうらうらふかきうらこちたさ  
 むらうらひむうらむけかの免はけるのふ  
 一きあうらうらふかきうらうらむと  
 たさうらうらむかきうらむをわらむ  
 さんえうらうらむかきうらむを  
 わみさうらうらむかきうらむを  
 うらうらむかきうらむを

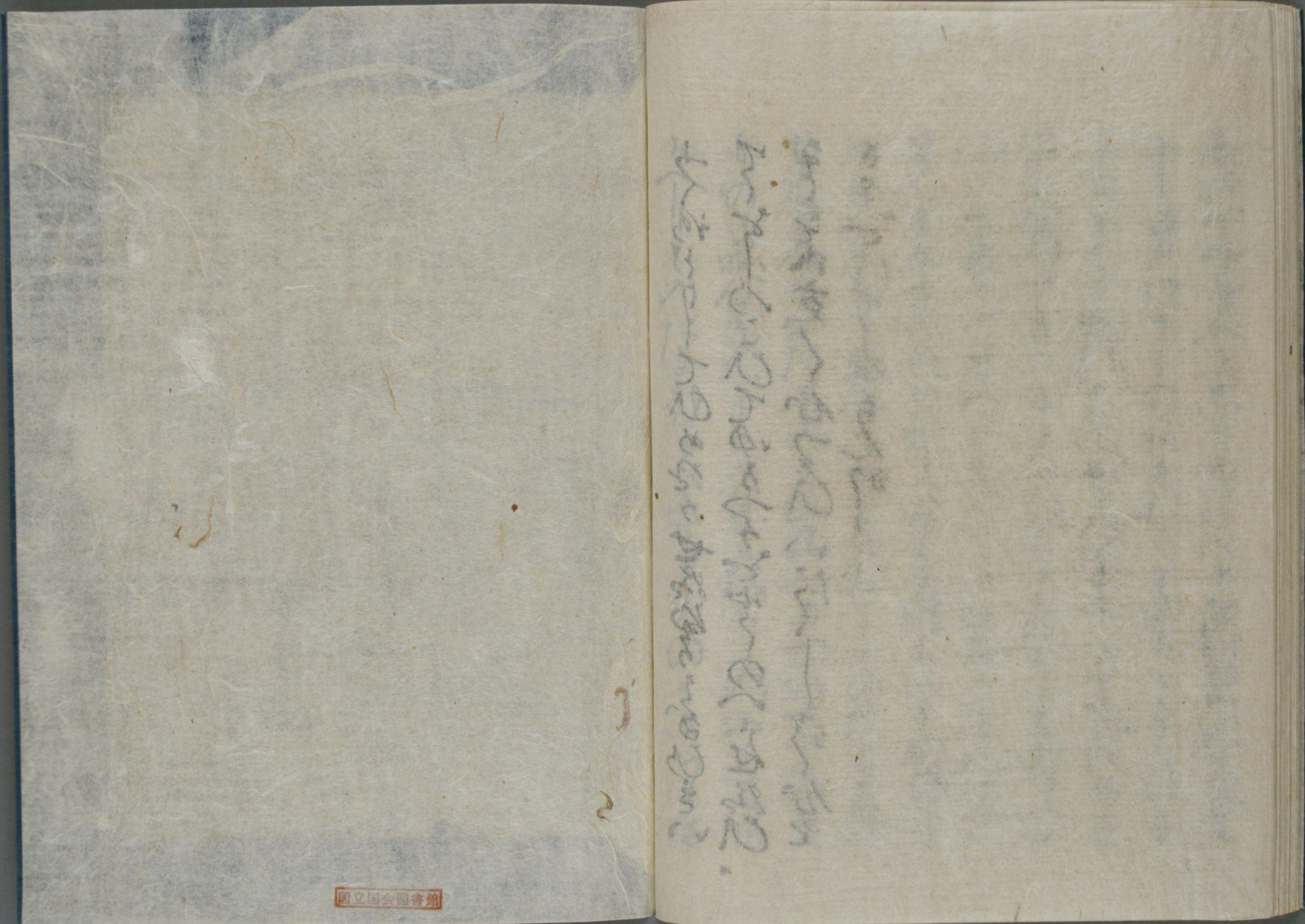
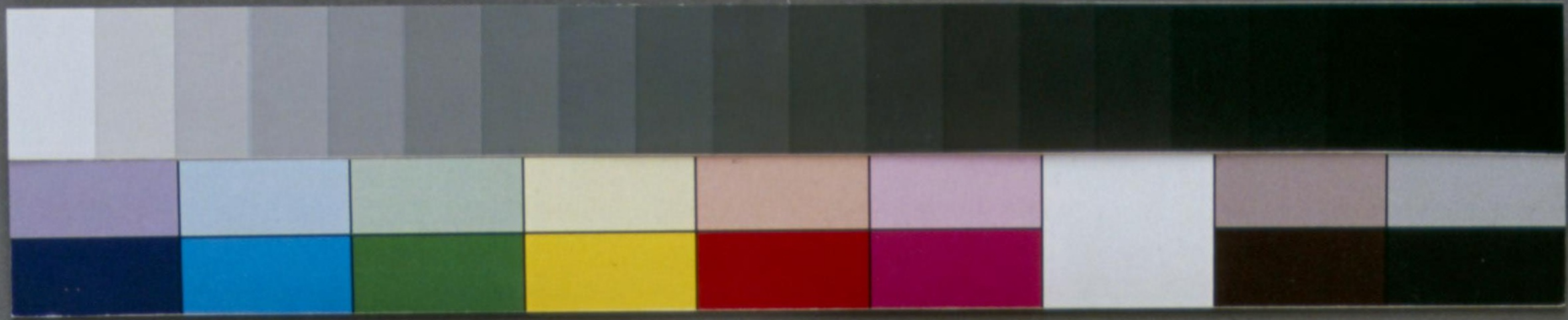
かりうらうらむかきうらむを  
 ぬけのうらうらむかきうらむを  
 てあまうらうらむかきうらむを  
 のきうらうらむかきうらむを  
 まんうらうらむかきうらむを  
 たらうらうらむかきうらむを  
 うらうらむかきうらむを  
 ようらうらむかきうらむを  
 むらうらむかきうらむを  
 ぬさうらうらむかきうらむを











源氏物語  
 23 はつね  
 WA7-263  
 23-020

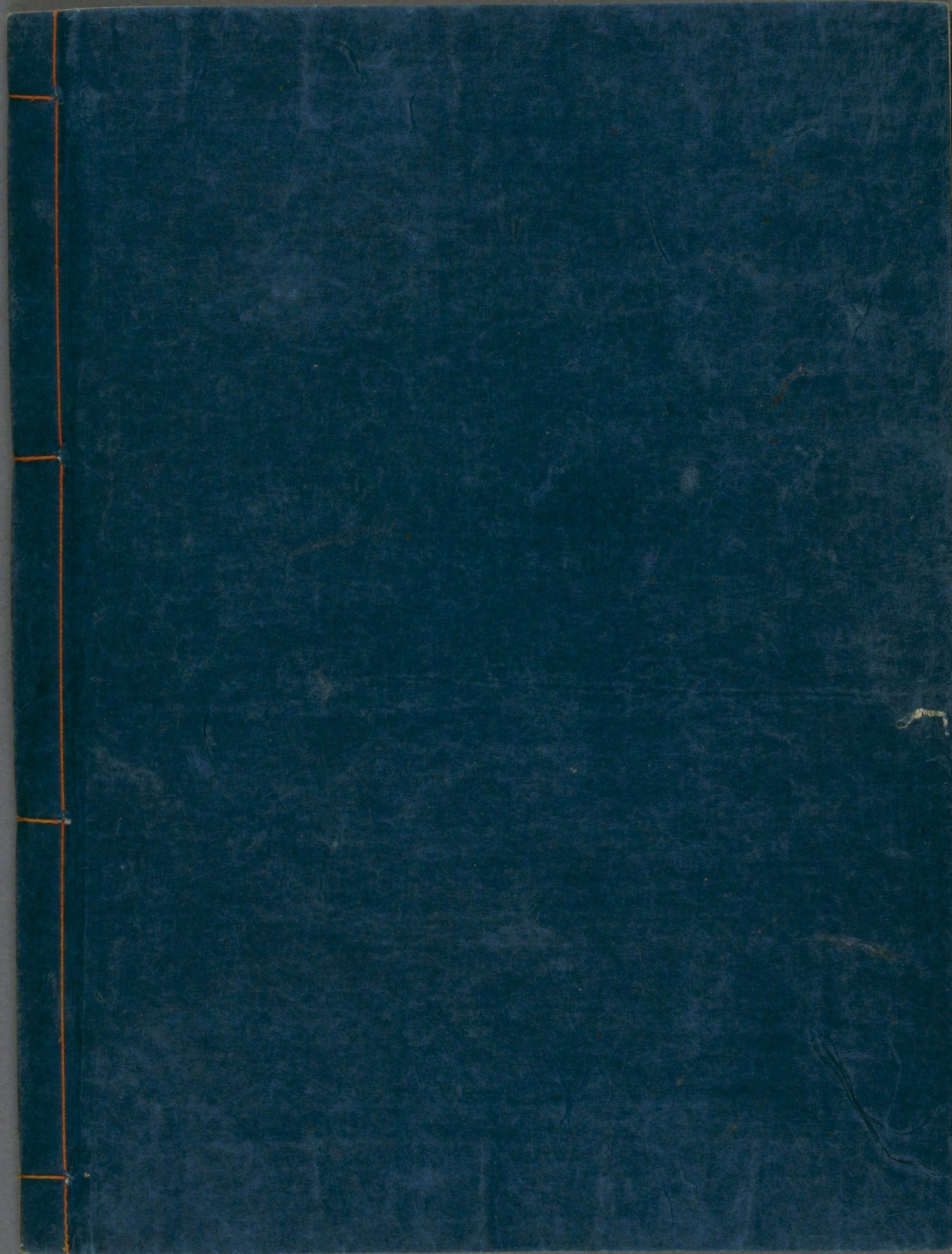
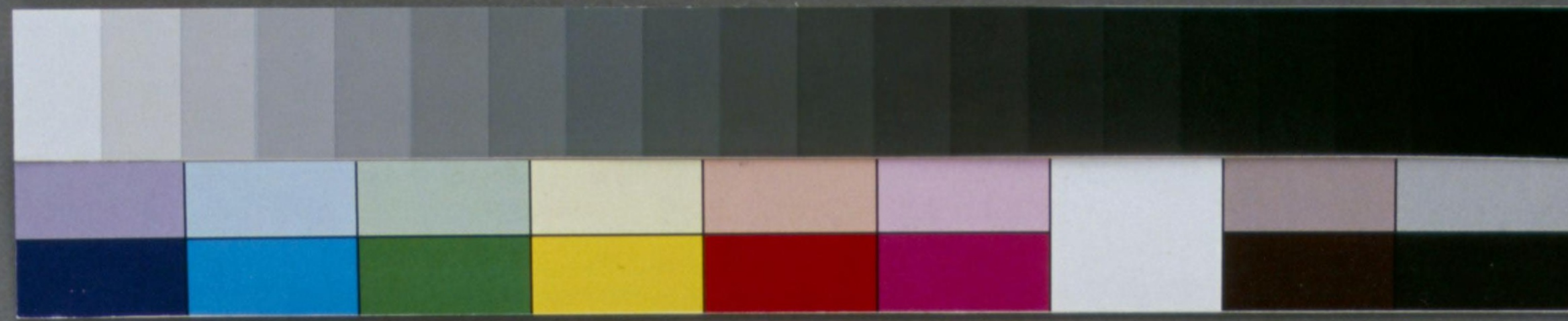
国立国会図書館

源氏物語 23 はつね WA7-263 23-020

国立国会図書館







源氏物語 23 はつね WA7-263 23-021

国立国会図書館

